

各教育委員会教育長様
各小中学校長様
関係各位

久喜市教育委員会教育長 柿沼 光夫
久喜市立久喜小学校長 穂村 憲久

国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業・久喜市教育委員会委嘱

令和3年度 研究発表会について



残暑の候、皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、国立教育政策研究所の研究指定・久喜市教育委員会の研究委嘱を受け、カリキュラム・マネジメントの充実を通して、これからの時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育む研究を進めて参りました。

この度、下記の通り研究発表会を開催し、皆様方から御指導・御助言を賜りたいと存じます。つきましては、御多用の折とは存じますが、貴管内・貴校教職員の参加につき、御高配下さいますようお願いいたします。

記

1 研究主題

「イノベーション力」の育成を目指した
カリキュラム・マネジメントの充実（2年次）

2 期日

○10月14日（木） 12：30受付開始

※ 10月10日（日）までに本校HPに事前動画をアップする予定です。そちらを御視聴して頂いてから、本研究発表会に御参加ください。

3 発表方法

○**オンライン**（Zoom）にて配信

※ 参観可能人数には限りがございます（先着順）。あらかじめ御了承ください。

4 研究概要

Society5.0の時代を迎えようとしている今、学校教育も従来の考えにとらわれず、本気になって社会の変化に対応することが求められています。本校では、保護者や地域の声に真摯に耳を傾けるとともに、全教職員で何度も協議を重ね、学校教育目標を「イノベーション力の育成」としました。この学校教育目標を達成するためにカリキュラム・マネジメントの充実を図り、学校経営の改革に取り組んでいます。

カリキュラム・マネジメントの充実に向けて3部会（授業研究部・評価部・環境部）を組織し、各プロジェクトを立ち上げ、「チーム久喜小」一丸となって研究に取り組んでいます。

学校教育目標「イノベーション力の育成」

イノベーション力育成のために必要な資質・能力である3A（①Acquisition「自分の自信につながる経験」、②Application「新しい価値を創造する思考」、③Approach「より良いものを目指そうとする態度」）を伸ばしていくことを目指していく。

授業イノベーション (授業研究部)

○…主な活動、→…担当

- 「**魅力的な問い**」からスタートする問題解決型学習を各教科・領域等で考案し、展開しています。
→ **OVMプロジェクト**
OVSプロジェクト
教科探究プロジェクト
- 本校独自の**学習過程モデル**をベースとして、教科横断的な単元である「大単元」づくり（「**大単元構想**」）をおこなっています。
→ **OVSプロジェクト**
- 本単元・授業等で育成したい資質・能力をより明確にするために、**Hour Glass パッケージ**に基づいた学習指導案を作成しています。
→ **教科探究プロジェクト**

評価イノベーション (評価部)

○…主な活動、→…担当

- 「**資質・能力一覧表**」を作成し、イノベーション力を身に付けた児童や育成を目指す資質・能力を明確にしています。
→ **教科プロジェクト**
生活・総合プロジェクト
- 各教科等で育んだ資質・能力が生活科や総合で発揮されているか（その反対もある）を児童の姿で見取ることとで、指導の改善に生かしています。
→ **生活・総合プロジェクト**
- **PDCA サイクルを高速化**し、学校行事の実施後はすぐに反省・改善する等し、来年度に向けた計画を立てています。
→ **カリマネプロジェクト**
行事プロジェクト
- 振り返りを大切にし、児童の**自己評価力の育成**を図っています。
→ **教科プロジェクト**

学校力イノベーション (環境部)

○…主な活動、→…担当

- 保護者や地域の方々を「**チーム久喜小会員**」として組織し、地域の教育力を最大限活用しています。また、コミュニティ・スクールの強みを生かし、保護者や地域の方々の意見を取り入れながら、社会に開かれた学校づくりを行っています。
→ **チーム久喜小プロジェクト**
- 「イノベ通信」や「くるみUP会議」、「打ち合わせシート」等を通して本校の研究・授業のねらいを発信し、地域からの理解を得ながら、教育活動を進めています。
→ **発信(SNS)プロジェクト**
- 子どもたちの思考を深めるきっかけになるような教材・教具を作成したり、オンライン（タブレット）を活用したりすることで、子どもたちの思考を更に深めています。
→ **オンラインプロジェクト**
資料保管プロジェクト
教材・備品バンクプロジェクト

5 日程

時 間	内 容
12:30	○受付開始
12:50 全体会①	<p>【全体会①】</p> <p>○研究発表会について ※参加方法の説明</p> <p>○公開授業について</p>
13:00 公開授業	<p>【公開授業】※事前録画したものを配信(45分間)</p> <p>【低学年の部】 学年・組 第1学年1組(34名) 授業者 平子 大樹 教科・領域等 生活科 単元名 「ダンボールランドプロジェクト」</p> <p>【中学年の部】 学年・組 第3学年3組(27名) 授業者 佐藤 素子 教科・領域等 国語科 単元名 「たから島のぼうげん」</p> <p>【高学年の部】 学年・組 第5学年1組(30名) 授業者 深井 薫 教科・領域等 くるみタイム(総合的な学習の時間) 単元名 「3UP 久喜小」</p> <p>【公開授業について】 ○どの学年の授業も本校が取り組んでいる大単元構想(教科横断的な視点で構成した問題解決型学習)に基づく授業の様子を公開します。 ○公開授業に係る指導案やワークシート等の各資料はHP上にアップする予定です。ダウンロードして御活用ください。 ○公開授業後の分科会では、グループ協議をおこないます。協議の柱は、以下の通りです。</p>
13:50 分科会	<p>【分科会】</p> <p>○第1分科会 授業研究部 協議の柱「大単元構想により、学校教育目標の実現に近づいているか」 指導者：埼玉大学教育学部教授 小倉 康 様 『閃きを形にするために必要な資質・能力を伸ばすカリキュラムとは』</p> <p>○第2分科会 評価部 協議の柱「評価を工夫・改善することで、指導の改善に生かしているか」 指導者：文教大学教育学部教授 小幡 肇 様 『子どもの表情・言動・様子・表現等を解釈する力量を高めることが評価の工夫・改善につながる』</p> <p>○第3分科会 環境部 協議の柱「地域との繋がりを意識した授業づくりによって、学校力の向上に繋がっているか」 指導者：文教大学教育学部教授 浅野 信彦 様 『個の学びを支える学校ーカリキュラム・マネジメントがめざすものー』</p>
15:30 全体会②	<p>【全体会②】 ※全体会②よりチャットにて研究の質問を随時受付</p> <p>○指導① 『久喜小学校のこれまでのカリキュラム・マネジメントの歩み』 久喜市教育委員会指導課GIGAスクール推進室指導主事 太田 真輝 様</p> <p>○指導② 『学校教育目標の実現とカリキュラム・マネジメント』 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官・学力調査官 鳴川 哲也 様</p>
16:40	【謝 辞】
16:45	○閉会

6 参加方法

- 1 参加希望の先生方は、右記に記載されております2次元コード及び本校HPより Google フォームにアクセスしてください。
※ **9月3日（金）より申し込み開始**
- 2 Google フォームで必要事項をご記入の上、事前登録（分科会希望や本校の研究に関する質問等）をしてください。
- 3 登録者の方全員に、公開授業視聴用 URL・研究協議会用 URL を送信いたします。
※ **自動返信されたメールは、必ず保存しておいてください。**
※ 公開授業に関わる動画は、10月10日までにHP上にアップする予定です。
自動返信メール内のパスワードを入力して、御視聴ください。
- 4 お申し込みの締め切りは9月30日（木）とさせていただきます。なお、分科会へのオンライン参加は先着100名までとさせていただきます。御了承ください。
※ 参加費は無料です。



【本校の紹介】

本校は明治6（1873）年1月に開校し、創立148年を迎えた歴史ある伝統校です。その源は、享保3（1803）年に郷学として設立された「遷善館」にまで遡ります。大正11（1922）年には、埼玉が誇る偉人であり、令和6（2024）年から新一万円札の顔になる渋沢栄一氏が本校を訪れ、講演会を開いたという記録も残っています。校庭には「全国学校園庭ビオトープコンクール」で日本生態系協会賞を受賞したビオトープもあります。これまで、文部科学省や県教育委員会などの研究委嘱を数多く受けており、平成25～29年には文部科学省の研究開発学校の指定を受け、新しい教科「夢創造科」の研究に取り組みました。常に新しい時代を見据えチャレンジしている学校です。



《久喜小自慢のビオトープ》



《前列左から5番目が渋沢栄一
2列目右端は当時の校長・小林好三》

久喜小学校のマスコットキャラクター、くるみちゃん。頭は久喜小学校の校章です。手には校章の由来にもなっているくるみをもっています。



くるみちゃん

お問い合わせ先

久喜市立久喜小学校

〒346-0005 埼玉県久喜市本町2-5-1

TEL 0480-21-0054

FAX 0480-24-1768

URL <https://www.kuki-city.ed.jp/kuki-e/>

MAIL kuki-e@kuki-city.ed.jp

担当：研究主任 飯岡